

年中 4 歳児

1 最近の幼児の姿

興味・関心・遊びの姿

運動会後も引き続きかけっこや踊りをするなど、すすんで戸外で体を動かして遊ぶことを楽しんでいる。着替えや手洗い、うがいなどの生活習慣が身に付いてきており、していない子に声をかけたりする幼児も出てきた。

気の合う友だちで2～4人のグループを作って遊ぶようになった。登園時や降園時には、幼児同士で挨拶をし、声を掛け合ったりするようになってきた。他のグループのことを意識し始め、かかわろうとするがトラブルになることもある。その都度納得のいくまでお互いの言い分を聞き、教師と一緒に話し合いながら解決している。

虫に興味をもち、園庭の花壇でカマキリやバッタなどを捕まえて虫かごに草や葉と一緒に入れたり、その場で触ったりして観察している。木の実や種に興味をもち、裏庭のドングリの実を拾ったり、花の種取りをしたりしている。また、掲示している花などの写真と実物の種を見比べて関心を高めている。一人一鉢の球根栽培では、水やりをしながら芽が出るのを楽しみにしている。

したいことやしてほしいことを「～をしたい。」「～をしてください。」という言葉を使って自分の思いを伝えるようになってきた。休みの日の出来事や、この頃できるようになったことなどを友だちや教師に話し、聞いてもらうことを喜んでいる。絵本の読み聞かせを静かに聞き、教師の仕草を真似したり、思ったことを言葉にしたりして読み聞かせの時間を楽しんでいる。

テーマに関する姿

運動会で踊った「なろうぜニンジャなれるぜニンジャ」の曲を聞きながら、衣装を付けて忍者になりきって、踊ったり、忍者ごっこをしたりすることを楽しんできた。巧技台や「おさるのジョージのおうち」をステージに見立てて、好きな歌に合わせて歌ったり、リズム楽器をならしたりして楽しむグループもある。

「こぶたぬきつねこ」の歌に合わせてペープサートをタイミングよく動かしながら、歌うことを楽しんでいる。また、「なべなべ」や「大きな栗の木の下で」、「やきいもグー・チー・パー」の歌を、2～3人のグループで歌いながら動くことを楽しんでいる。「なべなべ」では、背中合わせになったり、向かい合わせになったりする動作がスムーズになり、「できた!」と喜んでいる。「大きな栗の木の下で」では、友だちと向かい合い、動作を合わせることを楽しんでいる。「やきいもグー・チー・パー」では、ジャンケンをする時に声や動作のタイミングを合わせて楽しむことができるようになった。

リズム楽器への興味が高まってきており、「こおろぎ」や「崖の上のポニョ」などの好きな歌に合わせて竹太鼓をならしている。また、それぞれが自由なリズムで竹太鼓を叩いて音を楽しんでいる。その音を聞きつけて、ウッドブロックやトライアングルをならして参加してくる幼児も増えてきた。

2 期のねらいと内容（3期 4歳児 9～10月）

表現 テーマに関するものを抜粋

いろいろな曲に合わせて、リズム表現を楽しむ。

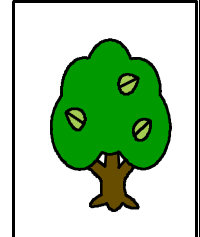
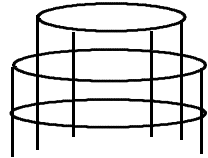
- ・ 曲に合わせて体を動かしたり、リズム楽器を使ったりして楽しむ。
- ・ 自分の好きな歌を歌いながら、歌に合わせてリズム打ちをしたり、友だちと交互にリズム打ちをしたりする。

ねらい	音楽を聞きながら，好きな場所で歌ったり，楽器をならしたりする。 歌に合わせて，友だちと交互にリズム打ちをする。
内容	音楽をかけて歌ったり，歌に合わせて楽器をならしたりする。 「こぶたぬきつねこ」に合わせてリズム打ちをする。

時間	一日の生活の流れ	予想される幼児の姿：本日までの遊びの様子と教師の願い
13:00	好きな遊びをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> おさるの ジョージの おうち </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">好きな歌を歌ったり，リズム楽器をならしたりする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 踊りの曲に興味をもち「なろうぜニンジャなれるぜニンジャ」「崖の上のポニョ」など好きな歌に合わせて様々な身体表現をして楽しんできた。 ラジオカセットで音楽を流し，好きな曲に合わせて歌いながら竹楽器（竹太鼓，竹琴）をならしたり，歌ったりして遊んでいる。曲に合わせて，友だちと一緒にリズム楽器をならしたり，歌ったりすることを楽しんでほしい。 </div> <p>* ラジオカセット，カセットテープ， リズム楽器（竹太鼓，竹風鈴，スズ，カスタネット，タンブリン，ウッドブロック，トライアングル）</p> <p>T 観客になったり，一緒に歌ったりして遊ぶ。 必要に応じて竹太鼓やばちを増やす。</p>
9:30	・好きな歌を歌ったり，リズム楽器をならしたりする。 ・音楽をかけながら歌ったり，歌に合わせて身体を動かしたりして遊ぶ。	
13:40	片付けをする。 ・排泄，手洗い，うがいをする。	
14:00	集まりをする。 ・歌 「もりのくまさん」 「こぶたぬきつねこ」	<p style="text-align: center;">教師や友だちと一緒に歌ったり，リズム打ちをしたりする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「こぶたぬきつねこ」の歌に合わせてペープサートを動かしながら歌うことを楽しんでいる。 先に歌う友だちや教師の声に続けて歌ったり，交互にリズム打ちをしたりして楽しんでほしい。 </div> <p>* ペープサート， リズム楽器（竹カスタネット，竹太鼓）</p> <p>T かけあいをすることを意識させながら歌う。</p>
11:15	絵本の読み聞かせを聞く。 ・「まほうのえのぐ」	
14:20	降園準備をする。	
14:25	保護者と一緒に歌を歌う。 ・「やきいもグー・チャー・パー」	
14:30	降園する。	

保育にあたって	<p>ラジオカセット同士の音が重なって遊びが妨げられないように、ラジオカセットを「おさるのジョージのおうち」とジャングルジム横に配置する。</p> <p>園庭の BGM の聞こえ方に留意し、幼児が他の遊びをしながらでも聞こえる音量であるかを適宜確認する。</p> <p>使った用具などは次の遊びに行く前に片付けるように指導する。</p> <p>整ったリズムを求めず、歌に合わせた自由なリズム打ちが楽しめるようにする。</p>
---------	--

* 物的環境	T 教師の援助
--------	---------



音楽をかけながら歌ったり、歌に合わせて身体を動かしたりして遊ぶ

歩くコースを作り、「さんぼ」の歌に合わせて歌いながら歩いたり、フープでトンネルをつくって通ったりして遊ぶことを楽しんでいる。

好きな音楽をかけて歌ったり、歌に合わせて動いたりすることを楽しんでほしい。

* 白線のコース，巧技台，フープ

T 幼児とトンネルをつくったり，かけている歌を歌ったりしながらかかわる。



3 週案 (10 / 20 ~ 10 / 22)

今週のねらい	<p>「おさるのジョージのおうち」や好きな場所で歌を歌ったり、音楽に合わせてリズム楽器をならしたりする。</p> <p>先と後のパートに分かれ、歌やリズムの掛け合いをする楽しさを味わう。</p>	<p>ラジオカセットで曲をかけて歌ったり、歌に合わせてリズム楽器をならしたりする。</p> <p>「もりのくまさん」や「こぶたぬきつねこ」を歌ったり、リズム打ちをしたりする。</p>	
環境の構成と教師の援助	<p>「おさるのジョージのおうち」にリズム楽器（竹太鼓、竹風鈴、スズ、カスタネット、タンブリン、ウッドブロック、トライアングル）とラジオカセットを準備し、中に入りやすいように机と椅子を外に配置しておく。</p> <p>幼児が自由にならして遊べるように保育室の中心に竹太鼓のコーナーを作る。</p> <p>教師が幼児の気に入っている音楽をかけたり、BGMに合わせて歌ったり、楽器をならしたりしながら幼児の遊びにかかわる。</p> <p>先のパート、後のパートを意識して、同じパートの幼児たちが声を合わせやすいように、向かい合ったり、手をつないだりして歌う。</p> <p>「もりのくまさん」の歌に自信のない幼児のパートに入り、一緒に歌う。</p> <p>「こぶたぬきつねこ」では、ペープサートで歌った後、竹太鼓を使ってリズムのまねっこをする。</p>		
日	20日(月)	21日(火)	22日(水)
幼児の活動	<p>好きな歌に合わせて楽器をならしたり、踊ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「おさるのジョージのおうち」での楽器遊び ・「なるうぜニンジャ」を踊って遊ぶ。 ・「こぶたぬきつねこ」をペープサートを動かしながら歌う。 	<p>歌詞のイメージをもって歌を歌ったり、リズム楽器を使ったりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こおろぎの声をイメージして、「こおろぎ」の歌に合わせて竹太鼓をたたく。 ・読み聞かせを聞いている中で「むしのこえ」や「どんぐりころころ」を歌う。 	<p>歌に合わせて動く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さんぼ(コースでの遊び) ・泥団子作り ・2～8人で「なべなべ」をする。 ・動作をしながら「もりのくまさん」を歌う。
絵本	さいちゃんのどんぐり(前半)	さいちゃんのどんぐり(後半)	むし、よーいどん!
歌	もりのくまさん こぶたぬきつねこ	もりのくまさん やさいもグー・チー・パー	もりのくまさん 大きな栗の木の下で、なべなべ
反省・考察	<p>A 児が B 児が「おさるのジョージのおうち」で、「だれにだってたんじょうび」の歌に合わせて、身体を動かしたり、T と一緒に竹太鼓やスズやカスタネットをならして遊んだ。砂場では、3、4人の幼児たちが「なるうぜニンジャ」の踊りやポーズを年長 T に見せて遊んでいた。様々な遊びの中にも幼児の好きな歌が取り入れられるように、BGM の曲を歌ったりラジオカセットで音楽をかけるなどして援助していきたい。</p> <p>「こぶたぬきつねこ」の歌では、興味が高まっており、ペープサートを動かして歌うことを積極的に楽しむようになってきたので、ペープサートの数を増やしておきたい。</p> <p>「こおろぎ」の歌では、こおろぎ役が竹太鼓をならすようにすると、積極的に叩きたがる幼児が増えてきた。強くならそうとすればちのゴムの部分を使っていない幼児に、C 児が「こおろぎが逃げるよ」と声をかけていた。優しくならし、きれいな音が意識できるように、こおろぎの鳴き声をイメージしていきたい。</p> <p>読み聞かせの絵本の中で、虫たちが歌っている場面で「むしのこえ」を歌うと、半数ほどの幼児が歌い出し、どんぐりのおまつりの場面では B 児が「どんぐりころころがいい」と言って、みんなで歌うことができた。T が歌い出すと自然に歌ってくるようになった。</p> <p>ペープサートを増やすと、さらに意欲的になり、一人一役で歌を楽しむことができた。</p> <p>A 児、D 児、E 児と一緒に竹ぼっくりをする時、T が「さんぼ」の曲をかけると、歌いながらリズムに乗って楽しんだ。その後、F 児、G 児が加わり、白線のコースを「竹ぼっくりをおりて）歩こう」と言って歌に合わせて歩き始めた。音楽が止まるとラジオカセットを操作し、音楽を聞いて、歌に合わせた遊びを楽しむことができた。</p> <p>I 児、J 児、K 児、L 児は「おさるのジョージのおうち」の近くで泥団子作りをしており、ラジオカセットで色々な曲をかけながら、音楽が終わるまでに何個作れるかという遊びをしていた。自分たちの選んだ歌のリズムに乗って遊びを楽しんでいたのではないかと。</p>		